

令和5年12月19日

臼杵市長 中野 五郎 様

臼杵市議会
議長 梅 田 徳 男

臼杵市議会総務委員会
委員長 伊 藤 淳

地域振興協議会への支援について（提言）

総務委員会では、令和5年8月から11月にかけて、市内18地区の地域振興協議会の内、訪問を受け入れて頂いた16地区の協議会を訪問し、役員の方々と意見交換会を開催した。

意見交換会では、「地域振興協議会の必要性」について、訪問した16地区すべてで「必要である」との回答があり、本事業の目的である「人口減少が進む中で、世代や団体間の枠を超えて連携することで、助け合い、支え合う関係が築かれた、将来にわたって安心して暮らせる地域づくり」に有効な施策であると認識されていることが確認できた。一方、令和5年度の地域振興協議会への補助金総額が前年度に比べて減額されたと認識されている協議会が多数あり、市の姿勢や地域振興協議会のあり方を問う意見も出されたことから、今後は、より一層、地域振興協議会との意思疎通に留意が必要と思われる。

なお、地域振興協議会が活動するための現状での主な課題および市への要望事項としては、

1. 地域振興協議会が抱える課題

- ① 後継者及び協力者不足…16地区
- ② 活動費の確保…11地区
- ③ 事務局体制の不足…11地区

2. 地域振興協議会から市への要望事項

- ① 活動の基本となる補助金の増額…13地区
- ② 補助金の前金払いを協議会の希望する形に変えてほしい…12地区
- ③ 事務局員の待遇改善と体制の整備（事務局員の配置、待遇改善、活動車両）…11地区

以上のとおりであった。

この結果を踏まえて、地域振興協議会への支援内容について、下記のとおり提言する。

記

1. 地域振興協議会の各種事業に対する補助金の増額について検討すること。
2. 活動補助金の支払方法について、地域振興協議会の円滑な活動の推進に資するよう努めること。
3. 事務局の体制は、地域振興協議会の活動を推進するうえで最も重要であることから、事務局体制の整備・充実強化のための支援に努めること。